# 県央ブロックニュース 増刊号

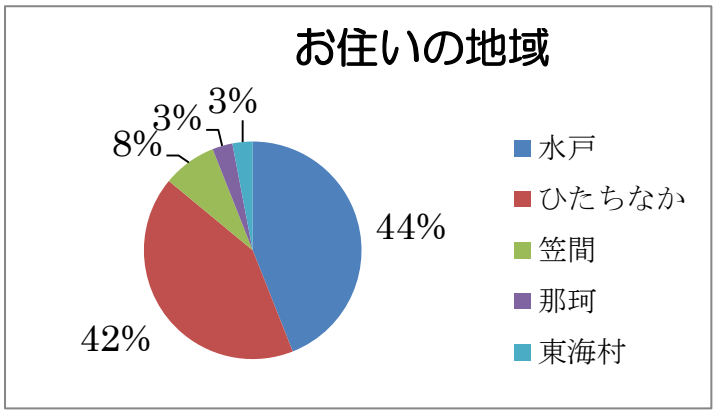
生活クラブ茨城
県央ブロック運営委員会発行

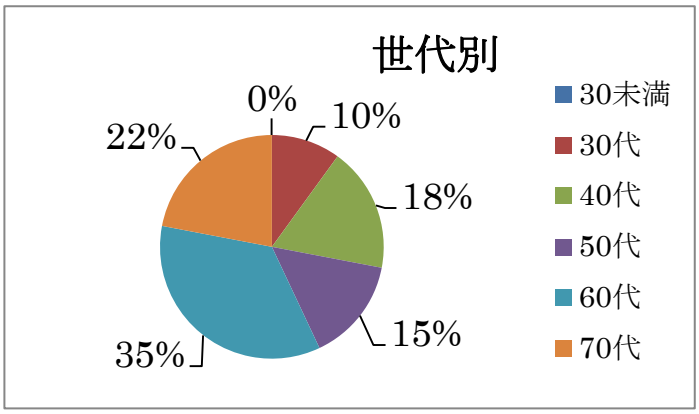
Tel.　029-291-8280
Fax.　029-291-8281

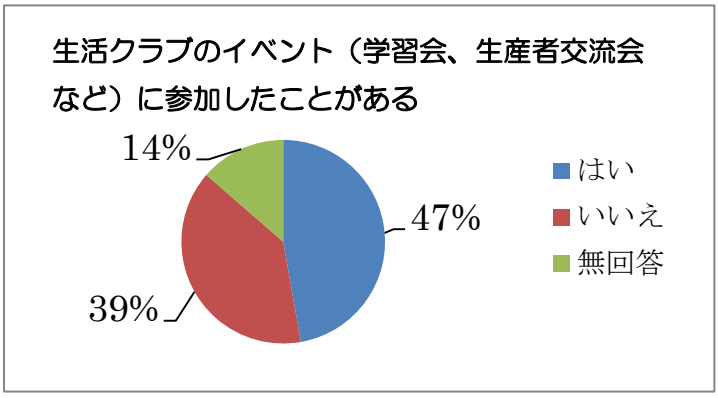
2022年3月9日号

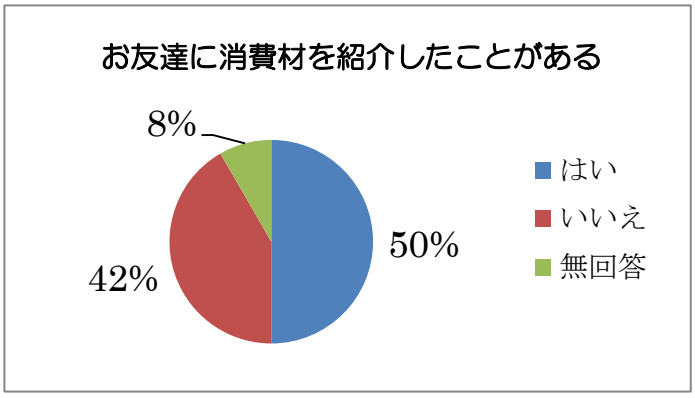
昨年秋に行われた一斉討議に関するアンケートにたくさんの回答ありがとうございました。
この増刊号では、設問の一部と、生活クラブ茨城の自主運営に欠かせない「委員会活動」について、「みんなの活動プロジェクト答申」を読んでの感想、ご意見、「豆腐アンケート」の集約結果、「水戸センター太陽光パネル設置」に関するアンケート結果をまとめました。

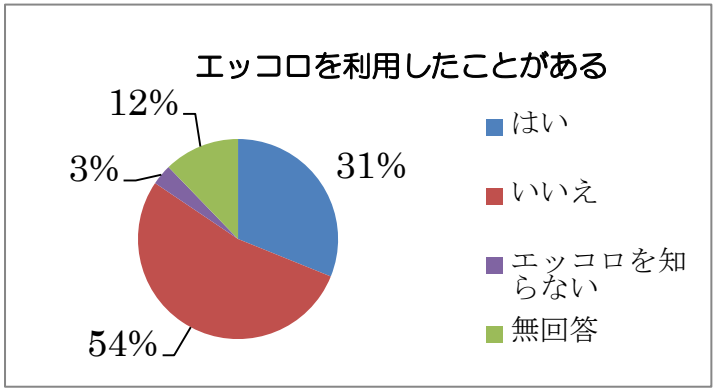
**一斉討議アンケート　回答者数　360**

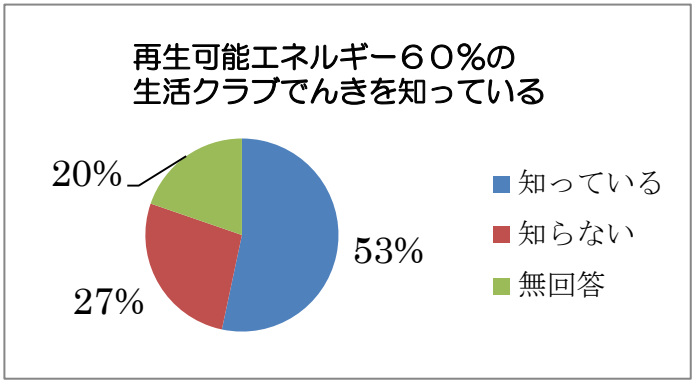


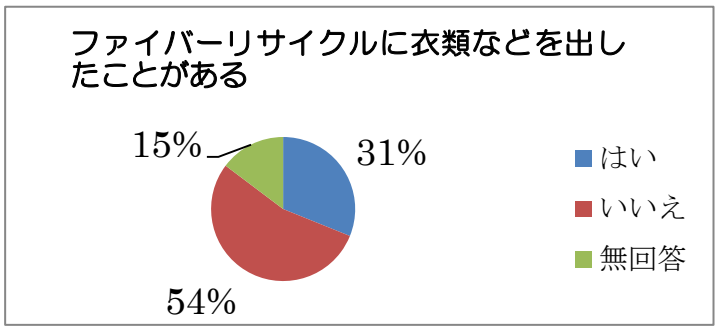



## 「委員会活動に参加しやすくなるには」に対する意見（同様の意見はまとめました）

- 世代を問わず働いている人が多いので難しいのでは。今の委員会活動は本当にやらなければならないことなのか見直しが必要だと思う。今までどおりは無理。生協として成立する最低限のラインはどこなのかを考えて、そこからできることを足していくしかないと思う。
- 子供が小さいうちのほうが委員会活動はしやすいのでは。子連れで参加しやすいようにおむつ、離乳食、ミルク等の用意をせずに済むように託児を充実してほしい。
- 子育てが終わった方、仕事をリタイアした方が委員会に参加しては。
- 委員会活動への参加の声掛けを続けることが大事。月一のチラシで募集し続けてみては。
- 組合員活動は自分のために行うものなので、活動の入り口を増やし興味を持ってもらうことが大切。活動は楽しいと発信し新しい人を誘い活動の輪が広がっていけばいい。
- 組合員参加をコーディネートする、活動を計画、立案、実行、振り返りする人たちには活動費を検討してもよいのでは。
- 問題意識をもってこれが知りたいと思う人が集まれる場なら委員会に参加してよかったと思うはず。
- 初めてでも気軽に参加できるような工夫をする。
- 平日の昼間だけでなく土日、夜間の開催などがあったらいい。
- オンラインを活用する。またオンデマンドの利用で時間の制限にかかわらず参加しやすくなるのでは。
- 水戸センターまで行くことが困難な人もいるので、各地域でだれでも参加できる小規模のお茶会（委員会）があれば参加しやすい。
- 知り合いがいないと参加する勇気がない。同年代の人、生活クラブの友達、ママ友など知り合いと一緒なら参加しやすい
- 消費材が気に入って加入した人が多いと思うので、消費材の情報交換ができるような委員会なら参加する人が多いかも。
- 委員会の話し合いにあまり時間をかけすぎず、先輩ママから育児や幼稚園・保育園の話が聞ける、世間話ができるなどの時間を会議後設ける。
- 委員会に参加する時間はないが、消費材を利用することで活動参加している。
- 委員会で、世代別、地域とつながれるような企画をしてほしい。

- 委員会活動に興味がない。
- 委員会活動って何？選ばれた、または自主的に入会された方だけの活動ではないのですか？
- 加入して日が浅いため消費材の購入のみ。委員会活動はよくわからない。
- 言葉を変えて内輪のみに通じるのは馴染めない人もいるからあまり好きではない。
- 健康上の問題、介護などの理由で活動参加はできない。

## 「資料「みんなの活動プロジェクト答申より」を読んで

- わかりやすく、自分のこととして具体的に考えられるようなチャート。今はリアルに人と話すことが難しいが、遠くの人ともつながるハードルが下がり生活クラブなら仲間がいる。と感じてもらえればその人にとって生活クラブの必要度がアップして「継続のために何か力になりたい」と思ってもらえたらいい。オンラインの交流会に他単協の組合員が参加していて、離れていても同士が見つかるのはすごいと思った。
- 組合員活動の内容、特に生活クラブの仕組みがよく分かった。

- 生活クラブをわかりやすく伝えるための情報が入った QR コードの付いたシールを作り、消費材をおすそ分けするとき貼って渡せれば PR になると思う。
- げんき米が５kgなのは理由があるのか。２kgがあれば引き売りで買えるのに。こんなことを考えることでも活動が広がるといいと思った。
- 笠間地区では個配希望の声があるが、採算のとれる人数を加入させるのは難しい。現在いる組合員でどんな参加の仕方ができるかアンケートを取る必要があると感じる。
- 消費材を使う生活が当たり前になっているが、なぜそうなのか考える機会になった。当たり前を学び直し次世代に伝えていきたい。
- 個配なので班の井戸端会議での情報がほしい。
- 生活と自治で紹介されている映画を見る企画があったらいいと思う。
- 情報交換できる場（お気に入りのお店、組合員宅、コミセンなど）を地域に作って定期的に集まる場所を作っていけら良いと思う。自分の思いを伝えたい、やりたい、語りたいと思っている組合員はいるはず。

- 活動や運営のことで、やりたくないことをやらされていると感じていた組合員がたくさんいる。組合員が増えた今こそシンプルになるときだと思う。
- かみ砕いた説明で分かりやすいが、長年委員会活動にかかわってきた人間にとっては内容が薄く感じてしまう。そのような考え方が組合員活動を広める際のネックになっているのかもしれない。
- 生活と自治の１００円を払いたくない。エッコロを使う機会もないので掛け金がもったいない。
- 毎週たくさんのカタログ類がありすべては見られない。これらの中から子や孫世代のためになる、必要なものを抽出して読むのは難しい。

## 消費材のお豆腐「豆力」に関するアンケート

茨城独自品で、原材料にこだわった（国産大豆、天然にがり使用、消泡剤不使用）安心安全な「大月食品」のお豆腐ですが、生産者が高齢のため 2023 年度で生活クラブとの契約を終了することになり、契約終了後のお豆腐をどうするかについてアンケートを取りました。

**アンケート回収総数 198 枚（12/22 集計）**

Q. 生活クラブのお豆腐を利用していますか？　はい 160　いいえ 19

Q. お豆腐の予約をしていますか？　はい 111　いいえ 72

Q. 市販のお豆腐を購入していますか？　はい 103　いいえ 80

Q. 今後も生活クラブの生産者が作ったお豆腐は必要ですか？

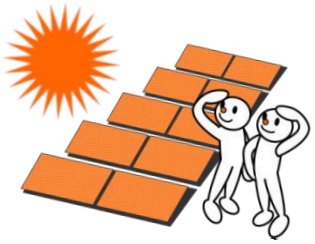
必要　140　不必要　3　どちらともいえない　51

Q7 新しいお豆腐の開発チームの参加に興味はありますか？

興味がある　44　興味があり参加する　3　興味はあるが参加しない　5　参加しない　57

アンケート結果をもとに運営委員会で話し合いを行い、引き続きお豆腐は欲しいし開発にも興味はあるが残念ながら開発チームを立ち上げることができる人数の賛同組合員が集まらなかったため、現時点では計画を持って進めることができない状況と判断しました。とはいえ、やはりお豆腐が食べたい、必要だから開発したい！という方が集まればいつでも開発はスタートできます。意志のある方、まずはセンターにご連絡ください。

## 太陽光パネル設置についてのアンケート



設置について【賛成　29】　【反対　84】　【わからない 86】
沢山の組合員から回答頂きコメントも頂きました。その中から抜粋します。

**【賛成意見】**

・案件取り組みは７～８年遅れています。設置タイミングは遅れてしまいましたが、とにかく再生可能エネルギーを自前で作り出すことが原発推進派への反対アピールになる。

**【反対意見】**

・地球上の生物で人間だけが自然の恩恵に反することばかりやり続けている一つに電力も入っている。使う方向でなく使用を少なくする方向を模索検討すべきでは。メンテナンス処理の仕方をこの地球に負荷を与えない回答が出ていない現在において設置することは「今良ければ」だけの考えにつながりかねない。安心安全な食をいただく意味をはき違えている人のやることに思える。

・１０年、２０年たった時、太陽光パネルが劣化し、有毒物質が溶け出して土壌汚染などのトラブルになるといった事があると耳にした。詳しい事はわからないが、もっと色々とよく調べる必要があると思う。

・水戸センター建設後すぐに東日本大震災が起こり、エネルギー（電力）について考えるようになった。当時は原子力エネルギーから再生可能エネルギーへシフトするためにも自分たちの電気は発電して使うという考えに賛同した。しかし、生活クラブの組合員全員とまではいかなくても、この問題に向き合い、一緒に考えるまでに至らなかった以上、費用の掛かる太陽光パネル設置をすることは難しいと思う。賛同者が多ければ設置してほしかったが、現時点では断念せざるを得ないのではないか。それよりも生活クラブエナジーへの参加（加入）を通して組合員が今のエネルギーを考えていくべきではないか。私個人としては、生活クラブエナジーを使いながら同時に使用電力を生活の中で減らす努力をしていきたい。生活クラブエナジーの仲間が増えれば水戸センターのことを考える仲間が増えると思う。

**【わからない】**

・仙台へ常磐線で行ってびっくり。福島辺りはまだまだでした。また、どこかで大きな被害が来るかも。台風で太陽光パネルが流されるのも目の当たりにした。

・原子力、火力が今後見直されることが進んだ場合、太陽光は将来性のあるエネルギーだと期待されるし、売電収入が少なくても環境のためには意味のある取り組みの様に思う。①電磁波②廃棄処理が心配のため⑦わからないの解答になった。検討の継続は必要だと思う。

・設置自体には賛成だが、時期は考慮する。政府の政策が大きく変わるかもしれないのでそれを待ってからでも。停電時に冷凍・冷蔵庫の電気が止まらないような対策は必要。

このように、皆さんから沢山の意見を受け取りました。安心安全な食を選ぶ私たちは、暮らし方についても関心を持って生活していると実感し、今回の一斉討議・組合員活動参加の１つと捉えました。
アンケートの意見をもとに県央ブロック運営委員会で話し合いを行い、今は設置の必要はないと判断し設置については見送りと決定しましたが、引き続き代替え電源設置についての検討は継続していきます。